

「本学医学科学生における、個人的および社会的要因の解剖学の試験成績への影響とその後の成績およびキャリアへの影響の検討」へのご協力をお願い

2009 年 4 月 1 日以降に東京科学大学（旧：東京医科歯科大学）に学部学生として在学中または在学しておられた方に関しては、在学中のデータと卒業後データに関してご協力のお願い。

受付番号：第 M2019-233 番

研究責任者：東京科学大学 ヘルスケア教育機構 准教授 山口 久美子

研究期間： 研究実施許可日から西暦 2028 年 3 月 31 日

医学生が卒業時まで身に付けておくべき、必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）に関する学修目標等を示した「医学教育モデル・コア・カリキュラム」は約 5 年に一回改訂になり、最終の改訂は 2022 年に実施されました。その影響を測定するためには医学科の学生が入学から卒業するまでに 6 年間かかるため、約 5 年ごとに研究期間の延長申請が必要となります。しかしながら、次回延長を行うかどうかは、その時の全国的な医学教育の動向によるため、現時点では 2027 年度までの研究期間を考えております。

本研究は、東京科学大学医学系倫理審査委員会の承認と機関の長の許可の下実施します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

【研究の背景】

医療の発展とともに医学科、歯学科、保健衛生学科、口腔保健学科の学部学生が学ぶべき知識量は急速に増加しており、国民に安全で質の高い医療を提供するために、大学における卒前教育の重要性が以前にもまして高まっています。

医学部における卒前教育では医学生は様々な分野について学びますが、解剖学実習は、「Your first patient」(Tank, PW. Grant's Dissector. 15th ed.)といわれるように、医学生が卒前教育の中で、初めて患者を通して医学を詳細に学ぶ重要な機会となっております。また、解剖学実習は、系統立ったグループワークを通して、学習を進めていく初めての機会ともなっております。そのため、解剖学実習における実習態度や解剖学の試験成績は学生の協働作業を行う能力・資質、プロフェッショナリズムに関する早期の指標となる可能性があります。しかしながら、学生の個人的および社会的要因の、解剖学実習に

における実習態度および解剖学の試験成績に与える影響や、解剖学実習における実習態度や試験成績のその後の学部学生の履修状況、成績、卒後の進路に与える影響を調べた研究は限られております。

【研究の目的】

本学の入学試験データ、教育目的で取得された学部学生の成績、出欠、授業評価アンケート、実習班の情報、所属するクラブ、出身高校名等のデータおよび卒後データを解析することにより、(1)個人的および社会的要因の、解剖学実習における実習態度および解剖学の試験成績へ与える影響、(2) 解剖学実習における実習態度や試験成績のその後の学部学生の履修状況、成績、卒後の進路に与える影響を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

本研究では、人体解剖学の教育目的に取得されたデータと教学 Institutional Research (IR) 部門が保有する学部学生から教育目的で取得され匿名化されたデータ及び匿名化卒後データを利用します。まず、人体解剖学の教育目的に取得された、小テストの成績・アンケートの回答内容・班分け情報などを教学 IR 部門に提供します。教学 IR 部門内では、IR 業務のために保有している卒前・卒後のデータから本研究に必要な事項(下記)を選択し、解剖学のデータと紐づけを行います。紐づけされたデータには、本研究固有の匿名化 ID が付与され、研究者側に提供されます。そのデータを研究目的で二次解析を行います。

本研究で分析に用いる予定である、卒前・卒後のデータは具体的にはセンター試験成績、個別試験成績、入試選抜区分、学科試験成績、GPA、出欠、学年包括(年1回)のアンケート(学習時間等)、留年・退学の情報、科目別のアンケート(授業評価等)、解剖実習班の情報、所属するクラブ、出身高校名、CBT、OSCE、国家試験データ等に加え、卒後データとして、現在の勤務先、役職、博士号取得の有無、専門医取得の有無、卒後の海外留学の有無等のデータを考えています。データは2009年4月1日以降に東京科学大学(旧:東京医科歯科大学)に学部学生として在学中または在学しておられた方を対象としております。この研究のために新たに検体採取や情報の取得を行うことはありません。本研究で取り扱う匿名化データは、ヘルスケア教育機構に設置されているパソコンや鍵のかかるロッカーに保管します。今後経年的な推移を検討するため等でデータの二次利用の可能性があります。二次利用の場合は、倫理審査委員会に再度申請し、被験者にも本学のWebサイト等で再度告知を行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

研究への協力に不同意の方は、下記の連絡先までご連絡ください。不同意のご連絡をいただいた方の情報は解析から除外します。在学生の方の場合も、研究への協力に対する同意不同意は、成績等の評価には一切影響はありません。

【個人情報の保護と研究成果の公表について】

本研究が扱う匿名化データには個人情報は含まれません。なお、元データ、匿名化データ、対応表は学生の成績と同様に本学個人情報管理規則に基づき、厳重に保管されております。

本研究の成果を学会や論文等で発表を行う可能性があります、その際は個人を特定できる情報が示されることはありません。

研究者連絡先：

東京科学大学 ヘルスケア教育機構 山口 久美子

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-4081 平日 10:00～16:00

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547 平日 9:00～17:00